

< 参考 > 講師の略歴

蓮花 一己 (れんげ かずみ)
帝塚山大学心理学部教授

1954年生まれ。大阪大学人間科学研究科・博士(人間科学)学位取得。

専門：交通心理学・産業心理学。

研究内容：運転者行動、事故分析、交通教育。現代社会に生きる人間が何を考え、いかに行動するのに関心がある。ドライバ - がなぜ事故を起こすのか、どうしたら防ぐことが可能かなど、フィールド研究を中心に明らかにする。

日本交通心理学会副会長、一般社団法人交通科学研究会副会長。

著書：「交通心理学」「交通危険学」「交通行動の社会心理学 - 運転する人間のこころと行動」など。公益財団法人「R西日本あんしん社会財団の平成24年度公募助成(研究)にて助成実績あり(テーマ：自転車と二輪車、及び自動車の共生に関する研究)。

(講演概要)

事故防止の基本はリスク情報の収集と分析であり、その結果として事故の発生メカニズムの推定がなされます。ヒューマンファクターに関わるリスク管理の「接近」と「展開」の研究を紹介するとともに交通心理学の役割を述べます。具体的な研究として、名阪国道や阪神高速道路、奈良県での研究について、交通コンフリクトやインシデントの側面から結果をまとめ、その後の対策への展開を解説します。次に、交通参加者の行動分析と対策について、高齢ドライバーをテーマとして個人の行動や心理面でのリスクを分析したフィールド調査の結果、安全確認や一時停止の行動に問題があり、かつ自己評価が高い高齢者の特徴を紹介します。さらに、高齢ドライバーへの安全対策の一つとして教育的対策の効果とその限界、今後の方向性について解説します。

林 光緒 (はやし みつお)
広島大学大学院総合科学研究科人間科学部門教授

1962年生まれ。広島大学大学院生物圏科学研究科博士課程修了。

専門：実験心理学・睡眠科学。

研究内容：睡眠と覚醒、生体リズム。日中に眠くなるのはなぜか、眠気を予防するにはどうしたらよいか、仮眠は効果があるのか、夜更かしや不規則な睡眠が日中にどのような影響を及ぼすかなど、睡眠と日中の覚醒との関係について研究している。

著書：「睡眠学」「睡眠心理学」「基礎講座 睡眠改善学」など。

「R西日本安全研究所主催第5回安全研究成果報告会(H24.10)にて特別講演「眠気のメカニズムと予防」。

(講演概要)

居眠りによる事故は後を絶ちません。居眠りしてしまうと危険を全く回避できなくなり、事故の規模が大きくなります。このように作業中や運転中の居眠りが大きな事故につながるということがわかっているにもかかわらず、なぜ居眠り事故はなくなるのでしょうか。この講演では、居眠り事故がどのようにして発生するのかを人間の生理学的メカニズムから解説し、居眠り事故を未然に防止するための方略について話題提供します。